

## 産業廃棄物処理計画書

令和 7 年 6 月 3 日

川崎市長 殿

提出者

住所 神奈川県川崎市川崎区小田5-15-11

氏名 前田道路株式会社 京浜営業所  
 所長 菅原 陸夫  
 (法人にあっては、名称及び代表者の氏名)  
 電話番号 044-333-2332

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	前田道路株式会社 京浜営業所		自主管理事業登録番号	3759
事業場の所在地	神奈川県川崎市川崎区小田5-15-11		TEL(連絡先):	044-333-2332
計画期間	令和 7 年 4 月 1 日 ~ 令和 8 年 3 月 31 日(1年間)			
当該事業場に関する事項				
① 事業の種類	D-建設業 (具体的には) 総合建設業			
② 事業の規模  ※ 前年度実績を記入、医療機関は前年度末時点の病床数を記入。	製造業	製造品出荷額	百万円	
	建設業	エリア内元請完成工事高	100 百万円	
	医療機関	病床数	床	
	その他の業種	売上高	百万円	
(上記項目に該当しない場合にはこちらに記載をしてください。)				
③ 従業員数	13			
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程  ※ 産業廃棄物の種類ごとに記入	汚泥:脱水・圧縮→改良土・切断水 廃プラスチック類:分別・圧縮・成型→固形燃料 紙くず:分別・選別→紙原料 金属くず:切断→鋼材・非鉄原料 木くず:破碎→固形燃料 ガラスくず、コンくず、陶磁器くず:破碎・選別→路盤材・埋戻材・セメント原料 がれき類:破碎→路盤材 管理型混合廃棄物:選別→各再生品目			

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項		
(管理体制図)		
前田道路(株)西関東支店 安全環境品質部及び工務部、製品部による指導・チェック→前田道路(株)京浜営業所		
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項		
① 現状	【前年度(令和6年度)実績】	
	産業廃棄物の種類数	8 種類
	① 排出量	1,279.5 t
* 種類ごとの前年度排出量は、別紙のとおり。		
(これまでに実施した取組)		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・3Rを全体的に推進</li> <li>・所内でのペーパーレス化</li> <li>・再生工場、再生業者へ委託しての減量化</li> </ul>		
② 計画	【(令和7年度)目標】	
	産業廃棄物の種類数	8 種類
	① 排出量	615.7 t
* 種類ごとの本年度排出目標量は、別紙のとおり。		
(今後実施する予定の取組)		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員の教育・研修</li> <li>・所内を整理整頓し、新たに購入するモノの削減(備品の棚卸)</li> <li>・電子マニフェスト活用などによる書類削減</li> </ul>		
産業廃棄物の分別に関する事項		
① 現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・分別方法、内容の掲示</li> <li>・現場発生廃棄物の適切な分別、及び分別を行うための教育</li> </ul>	
② 計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現状の取り組みの継続</li> </ul>	

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度(令和6年度)実績】		
	②+⑧ 自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0	t
	(これまでに実施した取組)		
	自社処分場での再資源化		
② 計画	【(令和7年度)目標】		
	②+⑧ 自ら再生利用を行う産業廃棄物の量		t
	(今後実施する予定の取組)		
	自社処分場での再資源化の継続		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項				
① 現状	【前年度(令和6年度)実績】			
	⑤ 自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0	t	* 種類ごとの前年度自ら熱回収を行った量は、別紙のとおり。
	⑦ 自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0	t	* 種類ごとの前年度自ら中間処理により減量した量は、別紙のとおり。
	(これまでに実施した取組)			
	-			
② 計画	【(令和7年度)目標】			
	⑤ 自ら熱回収を行う産業廃棄物の量		t	* 種類ごとの本年度自ら熱回収を行う量は、別紙のとおり。
	⑦ 自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量		t	* 種類ごとの本年度自ら中間処理により減量する量は、別紙のとおり。
	(今後実施する予定の取組)			
	-			

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

① 現状	【前年度(令和6年度)実績】		
	③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0	t
	(これまでに実施した取組)		
			* 種類ごとの前年度自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量は、別紙のとおり。
② 計画	【(令和7年度)目標】		
	③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量		t
	(今後実施する予定の取組)		
			* 種類ごとの本年度自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う量は、別紙のとおり。

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度(令和6年度)実績】		
	⑩ 全処理委託量	170.5	t
	⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	0	t
	⑫ 再生利用業者への処理委託量	144.2	t
	⑬ 認定熱回収業者への処理委託量	0	t
	⑭ 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0	t
	(これまでに実施した取組)		
	委託処理業者の情報収集を行い適正な処理を実施している工場の選定。		
			* 種類ごとの前年度処理委託量は、別紙のとおり。

② 計画	【(令和7年度)目標】	
	⑩ 全処理委託量	115.7 t
	⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	t
	⑫ 再生利用業者への処理委託量	95.7 t
	⑬ 認定熱回収業者への処理委託量	t
	⑭ 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t
	* 種類ごとの本年度処理委託量は、別紙のとおり。	
	(今後実施する予定の取組)	
	・上記取り組みの継続 ・所内での排出量削減の実施	
※ 事務処理欄		

備考

- 1 この様式は、前年度(令和6年度)の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成し、提出してください。  
また、前年度(令和6年度)の産業廃棄物の発生量が1,000トン未満の事業場にあつては、神奈川県・横浜市・川崎市・相模原市・横須賀市が推進する廃棄物自主管理事業へ参加するにあたり、事業場ごとに1枚作成し、提出してください。
- 2 当該年度(令和7年度)の6月30日までに提出してください。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入してください。
  - (1) ①欄には、日本標準産業分類(中分類)の区分を記入してください。
  - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合における元請完成工事高(前年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入してください。
  - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入してください。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入してください。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入してください。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付してください。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「—」を記入してください。
- 7 第5面の※欄には、何も記入しないでください。

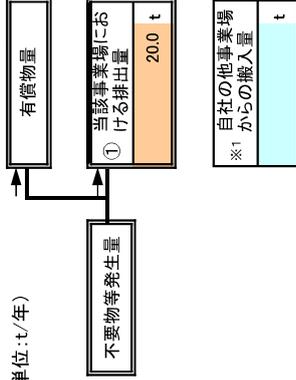
産業廃棄物処理計画書

別紙処理フロー

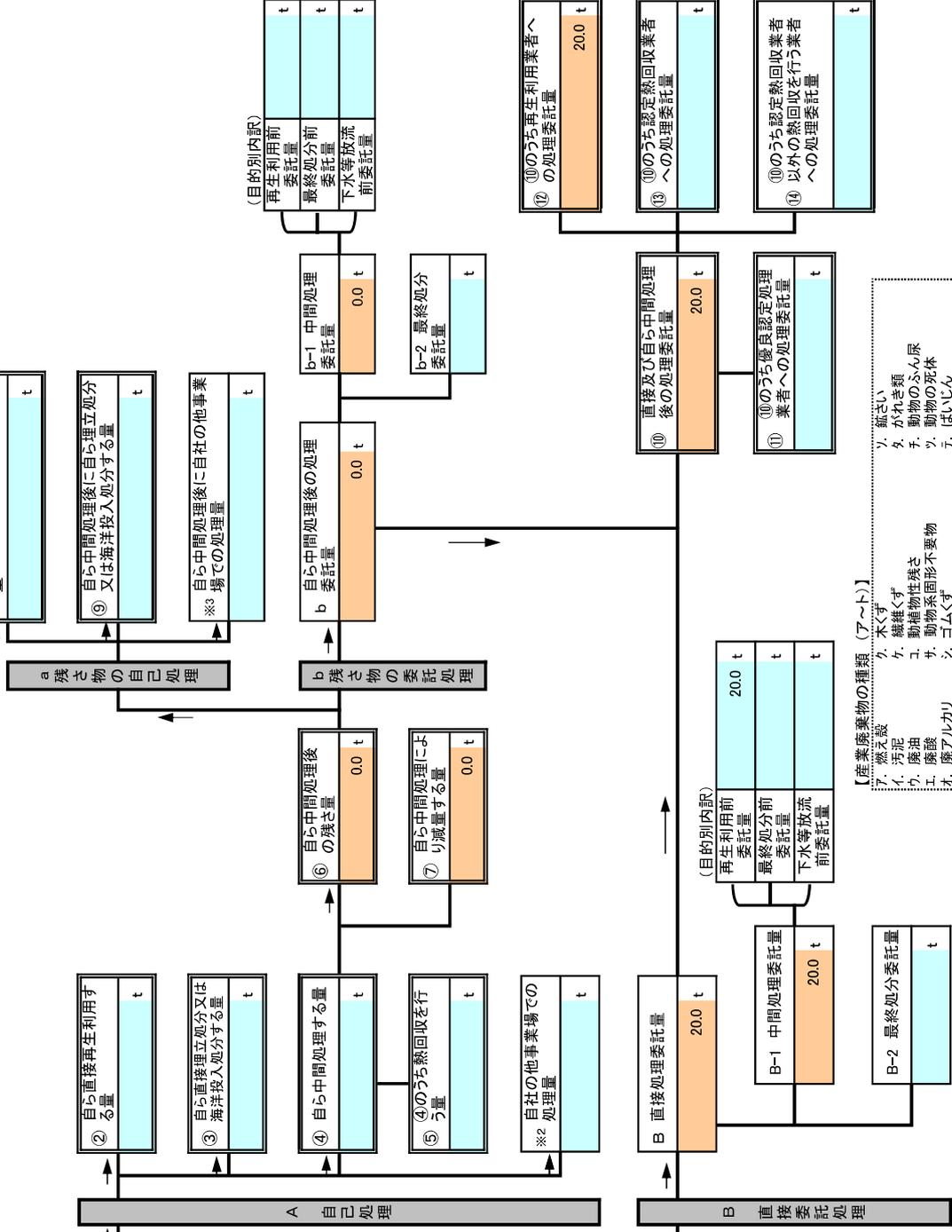
令和7年度発生する産業廃棄物ごとの目標量と処理計画

フローに記載した産業廃棄物の種類

※ 本用紙は廃棄物の種類ごとに枚の記載となります。異なる廃棄物の処理フローは別シートに記載してください。  
(単位: t/年)



事業場名称 : 前田道路株式会社 京浜営業所



注) 右上のフローには、令和7年度の目標量を記載してください。下の表には、令和6年度実績を記載してください。なお、様式3を合わせて提出する場合には、先に様式3を入力し、データ反映・印刷ツールを使用するところに数値が反映されます。

項目	令和6年度実績
① 排出量	24.9 t
②+⑧ 自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤ 自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩ 全処理委託量	24.9 t
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫ 再生利用業者への処理委託量	24.9 t
⑬ 認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t
⑭ 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

- 【産業廃棄物の種類 (ア～ト)】
- ア. 燃え殻
  - イ. 汚泥
  - ウ. 廃油
  - エ. 廃酸
  - オ. 廃アルカリ
  - カ. 繊維くず
  - キ. 繊維くず
  - ク. 動植物性残さ
  - ケ. 動物系固形不要物
  - コ. 金属くず
  - サ. ゴムくず
  - シ. 金属くず
  - ス. 金属くず
  - セ. ガラス・コンクリート・陶磁器くず
  - ソ. 紙くず
  - タ. 紙くず
  - チ. ぬいご
  - ツ. ぬいご
  - テ. ぬいご
  - ト. ぬいご

産業廃棄物処理計画書

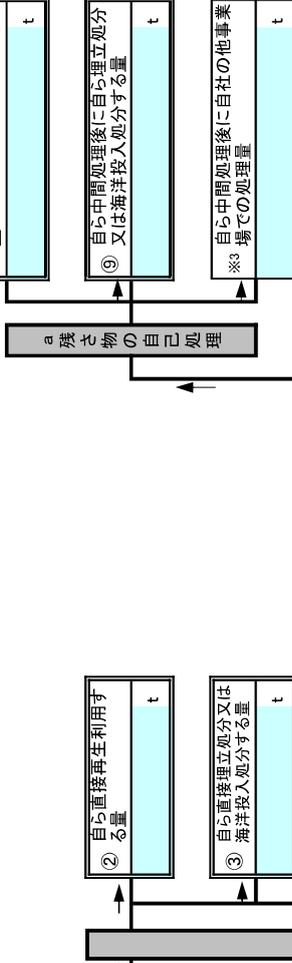
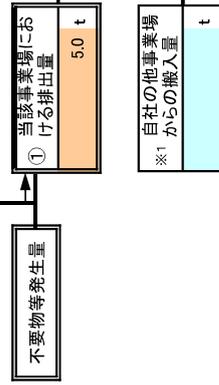
別紙処理フロー

令和7年度発生する産業廃棄物ごとの目標量と処理計画

フローに記載した産業廃棄物の種類

カ、廃プラスチック類  
※ 本用紙は廃棄物の種類ごとに枚の記載となります。異なる廃棄物の処理フローは別シートに記載してください。

(単位: t/年)



(目的別内訳)

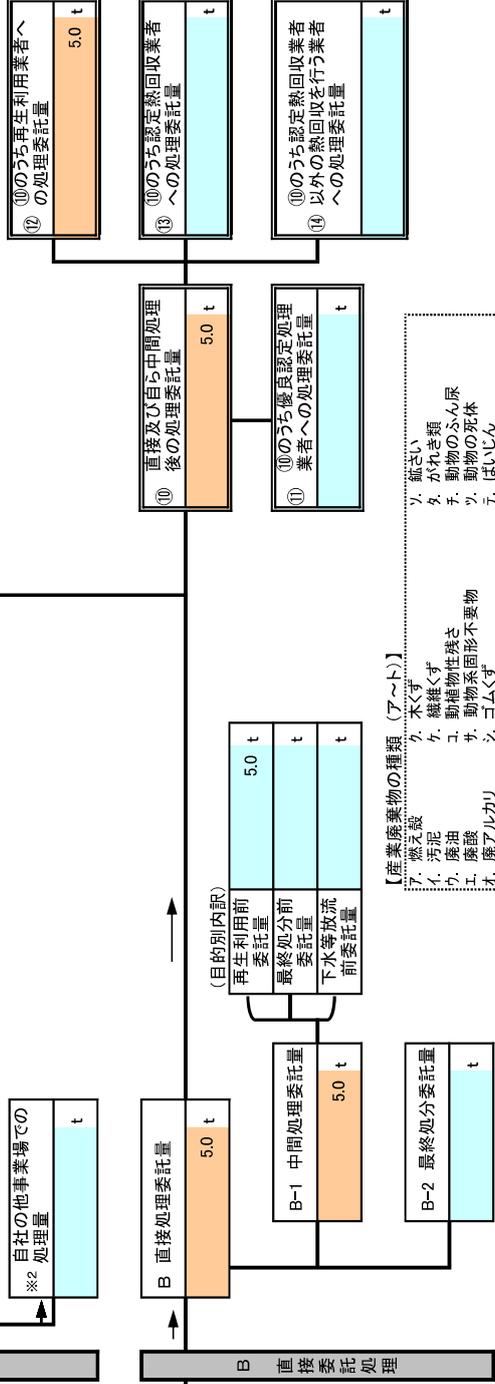
再生利用前委託量	t
最終処分前委託量	t
下水等放流前委託量	t

注) 右上のフローには、令和7年度の目標量を記載してください。下の表には、令和6年度実績を記載してください。なお、様式3を合わせて提出する場合には、先に様式3を入力し、データ反映・印刷ツールを使用するところに数値が反映されます。

項目	令和6年度実績
① 排出量	6.3 t
②+⑧ 自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤ 自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩ 全処理委託量	6.3 t
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫ 再生利用業者への処理委託量	6.3 t
⑬ 認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t
⑭ 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

事業場名称 : 前田道路株式会社 京浜営業所

2-2	法定	自主
	○	



【産業廃棄物の種類 (ア〜ト)】

- ア 燃え殻
- イ 汚泥
- ウ 廃油
- エ 廃酸
- オ 廃アルカリ
- カ 繊維くず
- キ 繊維くず
- ク 動植物性残さ
- ク 動物系固形不要物
- ケ 動物の死体
- コ ゴムくず
- サ 金属くず
- シ 金属くず
- ス 金属くず
- セ ガラス・コンクリート・陶磁器くず
- ソ 紙くず
- タ 紙くず
- チ ぬい物
- ツ ぬい物
- テ ぬい物
- ト 混合廃棄物その他

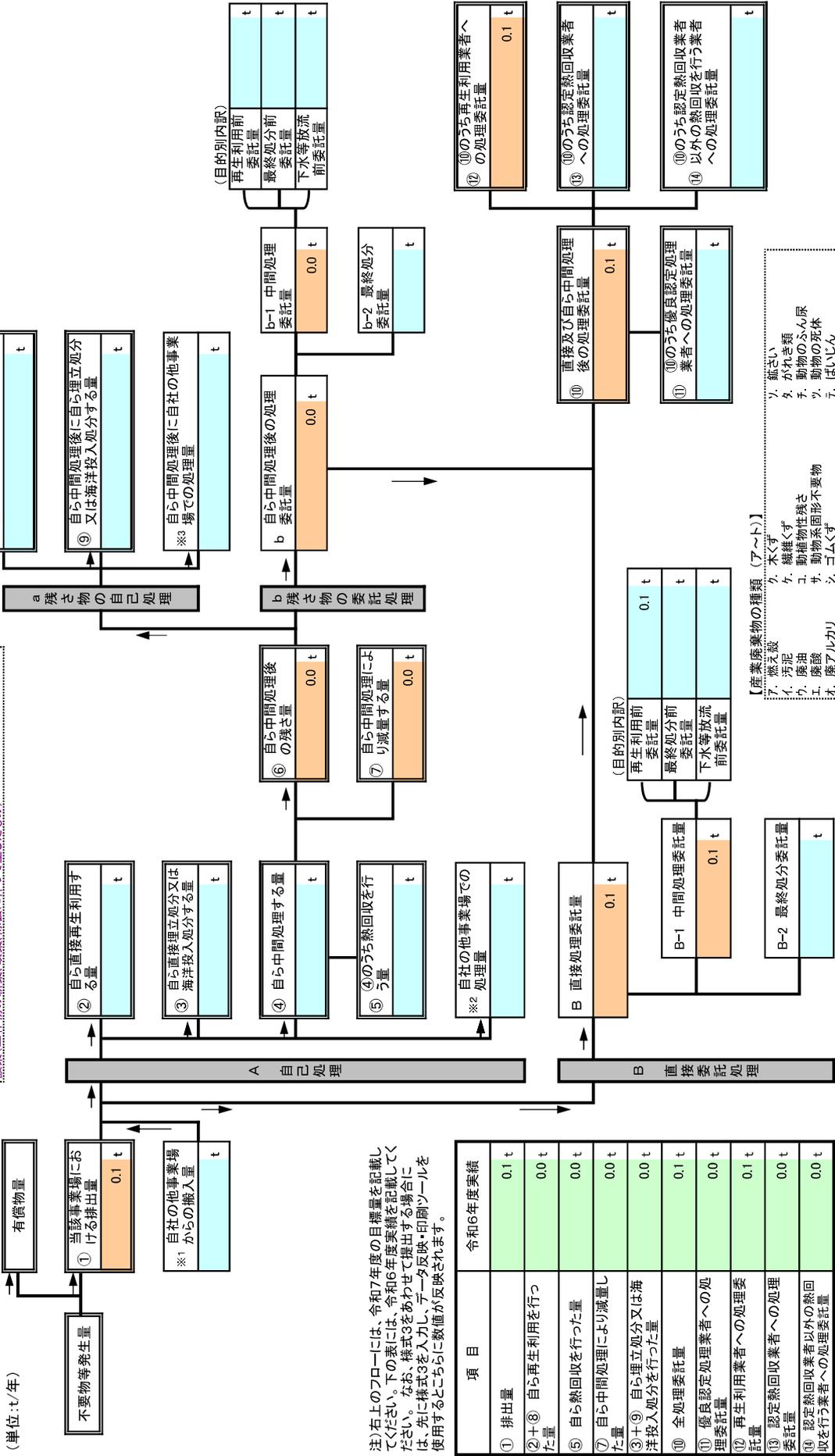
産業廃棄物処理計画書

事業場名称： 前田道路株式会社 京浜営業所

2-2	法定	自主
-----	----	----

別紙処理フロー  
令和7年度発生する産業廃棄物ごとの目標量と処理計画

【紙くずには業種指定があり、該当業種以外では一般廃棄物となり、報告対象外です。】  
紙くずに記載した産業廃棄物の種類  
キ、紙くず  
※ 本用紙は廃棄物の種類ごとに枚の記載となります。異なる廃棄物の処理フローは別シートに記載してください。



注) 右上のフローには、令和7年度の目標量を記載してください。下の表には、令和6年度実績を記載してください。なお、様式3をあわせて提出する場合は、先に様式3を入力し、データ反映・印刷ツールを使用するところに数値が反映されます。

項目	令和6年度実績
① 排出量	0.1 t
②+⑧ 自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤ 自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩ 全処理委託量	0.1 t
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫ 再生利用業者への処理委託量	0.1 t
⑬ 認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t
⑭ 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

- 【産業廃棄物の種類 (ア～ト)】
- ア、燃え殻
  - イ、汚泥
  - ウ、廃油
  - エ、廃酸
  - オ、廃アルカリ
  - カ、プラスチック類
  - キ、紙くず
  - ク、繊維くず
  - ク、動植物性残さ
  - ケ、動物系固形不要物
  - コ、金属くず
  - サ、ガラス・コンクリート・陶磁器くず
  - シ、ス、金属くず
  - セ、
  - ソ、
  - タ、
  - チ、
  - ツ、
  - テ、
  - ト、

産業廃棄物処理計画書

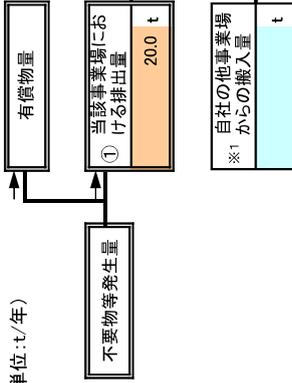
別紙処理フロー

令和7年度発生する産業廃棄物ごとの目標量と処理計画

フローに記載した産業廃棄物の種類

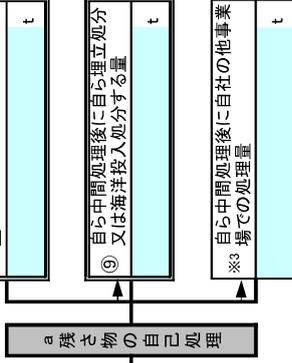
※ 本用紙は廃棄物の種類ごとに枚の記載となります。異なる廃棄物の処理フローは別シートに記載してください。

(単位: t/年)



事業場名称 : 前田道路株式会社 京浜営業所

「木くず」には業種指定等があり、除当業種以外では一般廃棄物となり、報告対象外です。  
 (除当業種)木材又は木製品製造業(家具製造業を含む)、パルプ製造業、輸入木材の卸売業及び物品買業に属するもの、建設業(工作物の新築、改装、除去に併せて生じたもの)。  
 (生業種対象)「廃棄物の流通のために使用したパレット(パレットへの貨物の積付けのために使用した、こん包用の木枠を含む)。」

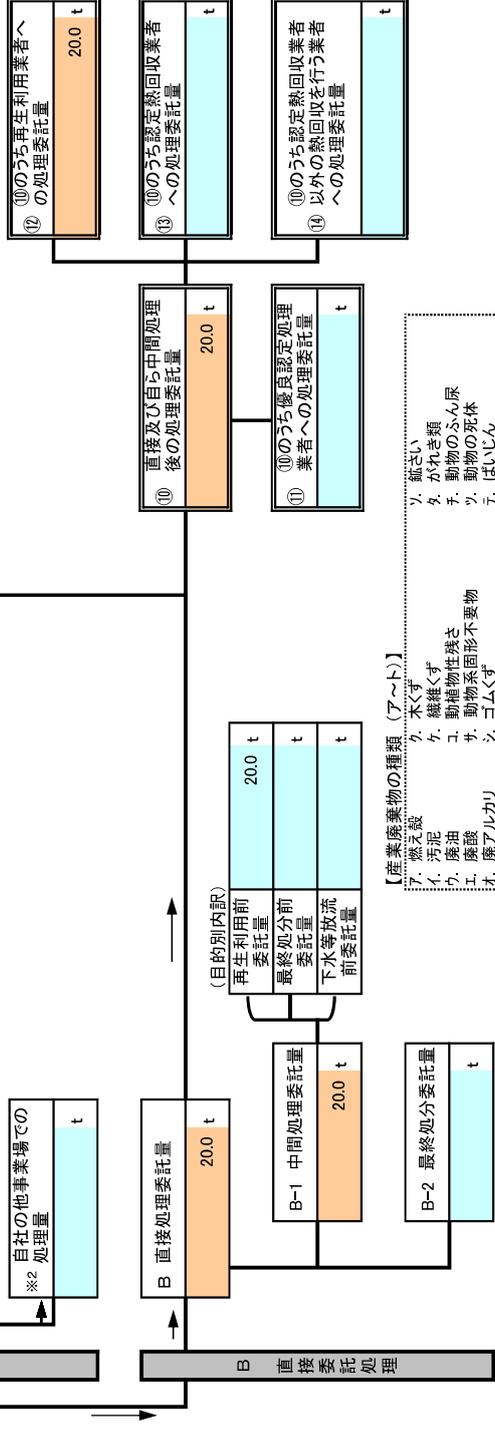


(目的別内訳)

再生利用前委託量	t
最終処分前委託量	t
下水等放流前委託量	t

注) 右上のフローには、令和7年度の目標量を記載してください。下の表には、令和6年度実績を記載してください。なお、様式3を合わせて提出する場合は、先に様式3を入力し、データ反映・印刷ツールを使用するところから数値が反映されます。

項目	令和6年度実績
① 排出量	28.7 t
②+⑧ 自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤ 自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩ 全処理委託量	28.7 t
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫ 再生利用業者への処理委託量	28.7 t
⑬ 認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t
⑭ 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t



- 【産業廃棄物の種類 (ア～ト)】
- ア. 燃え殻
  - イ. 汚泥
  - ウ. 廃油
  - エ. 廃酸
  - オ. 廃アルカリ
  - カ. 繊維くず
  - ク. 繊維くず
  - コ. 動植物性残さ
  - サ. 動物系固形不要物
  - シ. ゴムくず
  - ス. 金属くず
  - セ. プラスチック類
  - ソ. 紙くず
  - タ. 鉱さい
  - チ. がれき類
  - ツ. 動物のふん尿
  - テ. 動物の死体
  - ト. ばいじん
  - ト. 混合廃棄物その他

産業廃棄物処理計画書

別紙処理フロー

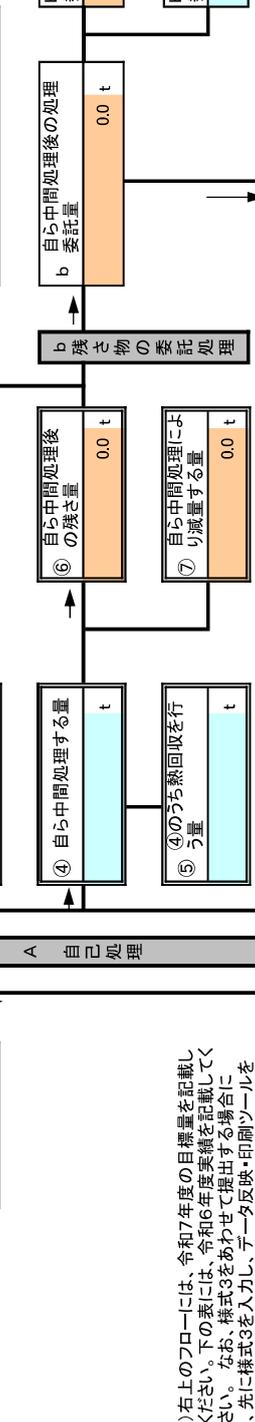
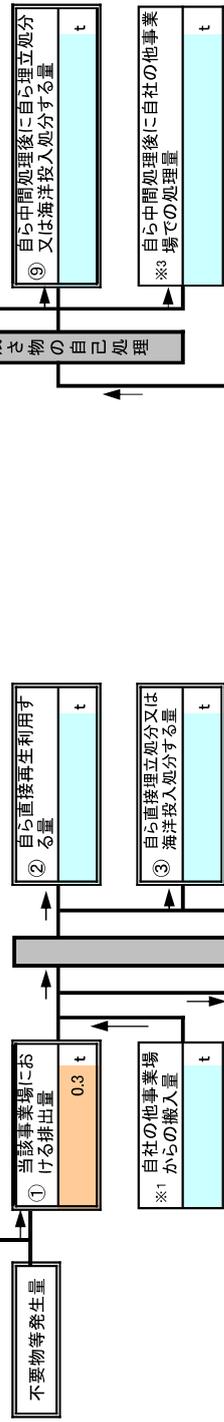
令和7年度発生する産業廃棄物ごとの目標量と処理計画

フローに記載した産業廃棄物の種類

ス、金属くず

※ 本用紙は廃棄物の種類ごとに枚の記載となります。異なる廃棄物の処理フローは別シートに記載してください。

(単位: t/年)



項目	令和6年度実績
① 排出量	0.6 t
②+⑧ 自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤ 自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩ 全処理委託量	0.0 t
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫ 再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬ 認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t
⑭ 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

注) 右上のフローには、令和7年度の目標量を記載してください。下の表には、令和6年度実績を記載してください。なお、様式3を合わせて提出する場合は、先に様式3を入力し、データ反映・印刷ツールを使用するごときに数値が反映されます。

事業場名称 : 前田道路株式会社 京浜営業所

2-2 法定 自主

⑧ 自ら中間処理後に再生利用する量 (t)

⑨ 自ら中間処理後に自ら埋立処分又は海洋投入処分する量 (t)

※3 自ら中間処理後に自社の他事業場での処理量 (t)

⑥ 自ら中間処理後の残さる量 (0.0 t)

⑦ 自ら中間処理による減量する量 (0.0 t)

④ 自ら中間処理する量 (t)

⑤ ④のうち熱回収を行う量 (t)

※2 自社の他事業場での処理量 (t)

B 直接処理委託量 (0.3 t)

B-1 中間処理委託量 (0.3 t)

B-2 最終処分委託量 (t)

(目的別内訳) 再生利用前委託量 (t)

最終処分前委託量 (t)

下水等放流前委託量 (t)

⑩のうち再生利用業者への処理委託量 (0.3 t)

⑩のうち認定熱回収業者への処理委託量 (t)

⑩のうち認定熱回収業者以外の処理委託量 (t)

【産業廃棄物の種類 (ア〜ト)】

- ア. 燃え殻
- イ. 汚泥
- ウ. 廃油
- エ. 廃酸
- オ. 廃アルカリ
- カ. 繊維くず
- キ. 繊維くず
- ク. 動植物性残さ
- ケ. 動物系固形不要物
- コ. 金属くず
- サ. 金属くず
- シ. 金属くず
- ス. 金属くず
- セ. ガラス・コンクリート・陶磁器くず
- ソ. 紙くず
- タ. 紙くず
- チ. ぬいご
- ツ. ぬいご
- テ. ぬいご
- ト. ぬいご





